

7

自昭和三年  
至昭和八年

重要記錄

營業局(國債)

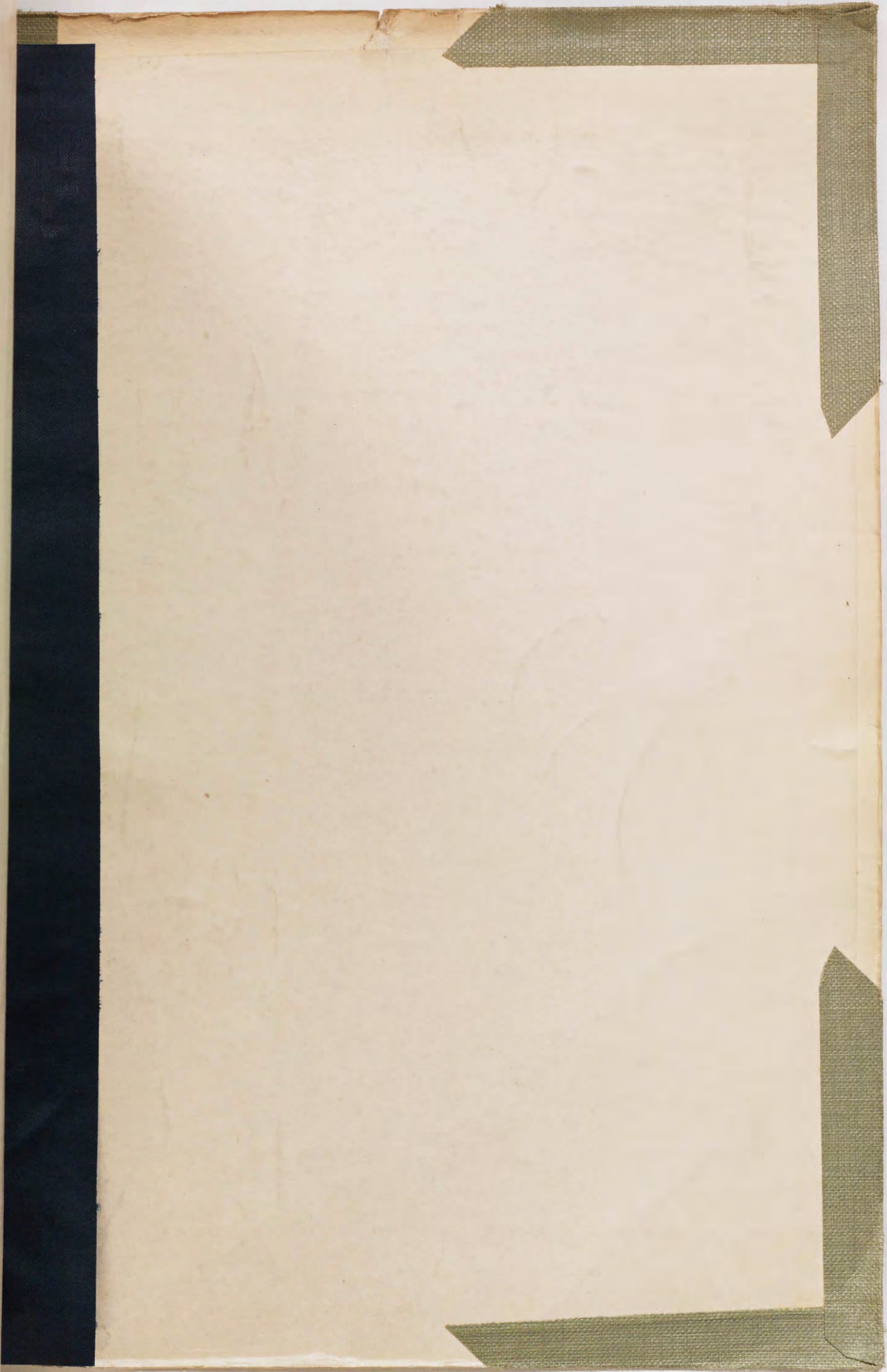
研究

6556

旧番号

6564







昭和三年  
重要記録  
昭和八年

15-168

宮

債局  
第2



自昭和三年  
至昭和八年  
重要記錄

1	國債ノ期限ニ関スル恒川山三ノ希望	手五、五
2	昭和二年度減債基金使用方法ノ件	手七、七
3	昭和三年九月一日逕國債元利金支拂高豫想	手八、四
4	昭和二年金融 <sup>恐慌</sup> 後ノ公債騰落ノ情勢	手九、九
5	五國(甲八回)募集並五國(乙十回)繰上償還ニ関スル費用額	三〇、五
6	昭和三年十二月一日逕國債利金支拂高豫想	三二、二
7	利札ノ四期拂削ヲ廢シ二期拂削ニ致ス	四一、三
8	長期國債ノ激増ト國債市價ノ動搖	四一、四
9	昭和四年三月中國債利金支拂高豫想	四三、三
10	六月中國債之利金	四五、八

昭和 年 月 日



昭和 年 月 日

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
昭和六年三月	昭和五年十二月	日露戦後軍事費調	〃 〃 九月中	昭和五年六月	貯蓄銀行ノ國債應募豫約申込ニ付テハ申込額並ニ確定募入ノ特殊ノ便宜ヲ与ヘラレタリ	〃 五年三月中	昭和四年十二月	昭和四年六月中	昭和四年九月
〃	中國債利息支拂高豫想	〃	〃	中國債元利金支拂高豫想	〃	中國債元利金支拂高豫想	中國債元利金支拂高豫想	國債元利金調書	國債元利金調書
六二二七	五二二四	〇拾參	五八三六	五五二六	五五三二	五二二六	四二二五	四二一九	四一〇四

伯達要造  
夏之吉類



昭和 年 月 日

21	四利債與公債利孔特別扱件	六、四、一
22	昭和六年六月中國債元利金支拂高豫想	六、五、二
23	政府第三債務者トシテ差押金令高爲令國元件(案)	追跡
24	米穀証券(う号)發行國元件	六、四
25	國債ニ關スル時款問題二三	六、四
26	國債市場利率變動引起之影響ニ關スル取定大件	六、六、〇
27	外債國債同化ニ關スル高調	六、七、八
28	設別五分利函索債案(第五十六回)整理方ニ關スル意見書六五	
29	大正十三年六月政府五債券募集事務費用電定略議燒棄件六七三	
30	國分野苗銀行利引停止件	六、六、一
31	昭和六年九月日中西債元利息支拂高豫想	六、六、三



昭和  
年 月 日

42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32
昭七 七 三 八	昭七 九 三 三	昭七 二 九	昭七 四 九	昭七 八 三 三	昭七 五 三 三	昭七 四 八	昭七 三 三	昭七 二 三 六	昭七 四 四 再	昭七 六 三 三
昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表	昭七 年 三 月 中 五 債 利 子 支 拂 手 簿 等 簿 表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表

昭七  
年  
三  
月  
中  
五  
債  
利  
子  
支  
拂  
手  
簿  
等  
簿  
表



53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43
昭和八年九月中五箇之利率支拂言豫定	五分利廿四五箇現立額及低利借換ニヨル負担軽減 類試算等	〃 八月六日中	昭和八年三月中五箇之利率支拂言豫定	信託會社所有國債取調方	昭和七年十二月中五箇之利率支拂言豫定	五箇利子以期拂ラ二期拂之改定ノ件ニ就テ	國債利子概算調	北海道地産税ノ引上げ募集取次ヲ為セル旨旨言ハシ	當難所止ニ對シ注意事	豫定額買上之返賤賜金征索ノ為ニ對シ方ニ對スル件
八八三六	八六二九	八五三七	八二二四	七、七、三三	七、七、三五	七、七、三二	七、七、三一	七、七、五	七、七、〇〇	七、七、〇七

昭和 年 月 日



日本銀行

年月日

61	60	59	58	57	56	55	54
美佛公債、低利借債、同元書類	債還期、同一元國債、記号、統一系	特別扱外債利札、同一系	證券取扱事務、設計	國債、初期渡利札、金額力、金額利札、金額ト相異、スルモノ、經過利子算出方、改正理由	昭和八年十二月渡國債元利金支拂高豫想	外債公債中減債基金付、モノ、條項略述	軍需品輸出当業者保有対露債権ニ関スル顛末
八七	七七	七二	七二	七一	六一	六一	八一〇
							二七

昭和 年 月 日



謹啓 新採之候益少傳移、被為尙早也、  
努

昨者 金融界之趨勢力多推考之國債價格の  
前途に付ては 日夜心痛懸慮 孫在川折柄 過  
日少招集に際し 不圖も是間陳竹文 彼何  
卒不悪少諒系と 程希上矣 是般は此嗟の  
場合を十分盡さうし 点有之 亥島少手許  
追更之 共之事情と 具申一 依り 存する 少力之 出  
座に

今より 一ヶ月前の 今債相場を 見ると 甲辨  
五分利 及 特別五分利 共 五圓乃至 五圓五

昭和 年 月 日



十銀内分。佐より来し其の期く昂騰も  
 以上将来金融業振。ことある場合に申す如相  
 当低落を免れざるべく右佐より佐め下落は  
 覚悟せざるべからず而も金融業者の多くは昨春  
 のモラトリウム後追々横溢の兆果示れ高  
 佐となりしものを購入の意向甚からざる様  
 況規げしに随て今債の價格下落する事  
 疑は蓋し測り難きもの可有也 故に今よ  
 り此稿に憂慮する事には至らざる事。杞憂  
 に終らんことを希ふ事勿論に以て其右下落  
 程に軽減策として四分五厘利率より價格九

昭和 年 月 日



杯七五の六箇年償還を条件とせらるゝものも少数  
 ありあらんとき切望致すべし。此等債は毎年五、十、  
 宛債より見ゆる順序とて、其結果下落の  
 事ある場合と居て、此の種を軽減せらるゝ  
 と同時に一面には、既設五、十、利公債の低下を阻  
 止する効果をも併有致すべく、移向し、論者或  
 は短期物買入を説明し人も、償還期昭和九年  
 迄のものも、尠くも額面又はその以上にて達し、  
 其状態にあり、又現在の公債が下落するものとし、  
 今、五十、十、宛債却り法を設け、之れに依り、共  
 銀の収益を著し、今日、右様、言ふなりし均し

昭和 年 月 日



銀行は極く少数のもの、しかも一般には困難な  
事と、移移の四合五聖利と五分利との差換五  
聖は利益勘定に現れざるを以て政府のものとして  
理解され易きも五分利公債を保有し其利札金  
を一旦利益勘定に計上後五聖宛清却に引  
當りたるは対株主関係等に於て是れは  
取に有之い。尚從來金融緊縮の際は自然的  
營業收益増大の事共、列挙せらるるも大正五年  
國債の發行總額極く億圓當時と現在其  
三倍強の發行八億餘圓に激増せる今日日  
同一には論じ難く或は市場拡大を理

昭和 年 月 日



由とさるゝことあらんも他日者金の需要旺盛となり  
 銀市は先を争ふと公債売却を目論まんも  
 其消化の至難なること甚係に難からず夫現  
 時コールド・ブームは極度の交々難に陥つてあり  
 政府は國債を支拂準備の第一線に配置  
 して是水の取有と將大厲せらるゝの時銀市業者  
 の立場は恰も酒精中毒症と知りつゝも飲  
 酒せさよ又からさるか如き羽目にあるも同様止むと  
 得ず國債と取有する実情に有之い般上  
 是亦は政府に於て年利五厘宛は後拂となり  
 取有者側に於ては該國債の効りに依り現下の

昭和 年 月 日



危険を緩和救済し均一に容兩得の方法とも一り相  
成有る矣 而して右実現は政府豫定の金利引  
下政策に一致し延ては市中銀行の金利低下断  
りの機会とありしに效果鮮少ならざるべく  
愚考化言 要は只長久未財界の平穩と健  
全なる救済を冀ふ外他なきを以て付右愚  
見も少考慮の一に加へらるれば望外の至りに  
少なり

追伸 六十年債還の短熟に過る少き見

まらば 十一年債還の九於五國銀行にも同

一の效果を齎すものと愚考存在矣

昭和 年 月 日



昭和三年五月十四日

名古屋銀行

頭取

恒川

小三

日本銀行

總裁

井上準之助 殿

昭和 年 月 日





昭和二年度減債基金使用方法ノ件

七月七日  
理財局長  
事務次長  
秘書長  
各一  
印  
印  
印  
印

昭和二年度減債基金使用方法中内國債買入三千万圓ノ使用方法ハ左ノ要  
項ニ依ルコト

(イ)主トシテ雜五分利公債(第三)ノ買入ニ充當スルコト尙各種交付公

債ノ交付價格ノ關係ヲモ考慮シ成ルヘク八十六圓三十錢ヲ下ラシメ

サル様カムルコト

(ロ)或種ノ公債ニシテ市價著シク低落シ他ノ公債相場ト甚シク權衡ヲ失

スル虞アル場合ハ前項ニ拘ラス適宜買入ヲ爲スコト

(ハ)特別五分利公債ハ抽籤償還ノ實行ニ關シ何分ノ決定ヲ爲ス迄買入ヲ

見合スコト




(二) 短期債ハ原則トシテ借換所作上必要ト認ムル場合ニ限り買入ヲ爲シ  
得ルコト



3

營業國債  
3.8.24  
回議第202號

昭和參年八月廿四日

營業局長 



日本銀行



總裁

副總裁 

理事







九月一日渡國債元利金  
支拂高豫想

昭和 年 月 日



九月一日期日

元金 五國(四八回)へ衆替残り臨國(つ号)及五國(そ号第十三回)  
三二、七一〇、〇〇〇圓

九月一日渡

利子

四五、二六〇、〇〇〇圓

合計七七、九七〇、〇〇〇圓

昭和 年 月 日



九月中元利金支拂高

(昭和三年三月中、支拂高ヨリ推算)

本店直扱 三六、七四〇、〇〇〇、〇〇圓

大阪地方 一〇、四四〇、〇〇〇、〇〇

名古屋地方 六、二四〇、〇〇〇、〇〇

其他 一七、九九〇、〇〇〇、〇〇

計 七一、四一〇、〇〇〇、〇〇

期月後ノ支拂 六、五六〇、〇〇〇、〇〇

合計 七七、九七〇、〇〇〇、〇〇

昭和 年 月 日





昭和二年金融恐慌後ノ公社債騰落ノ情勢

金融界恐慌ノ後ヲ亨ケテ田中内閣成立スルヤ募債方針ハ從來ノ緊縮ヨリ  
 政友會傳統的の方針タル積極ニ轉スル傾向ヲ帶ヒ市場ハ遽ニ活氣ヲ呈シ、  
 加フルニ(一)金融恐慌ニ依テ生シタル預金偏在ノ結果ハ遊資投資口ノ選擇  
 トナリ公債ノ需要増加シ(二)證券業者ノ手持減少ヨリ市場ハ現品薄トナリ  
 (三)臺銀コール償還問題解決見越等ヨリ左記ノ如ク茲數月サマテ變動ナク  
 推移シ來リタル市場相場モ

昭和二年

甲 五

特 五

第三五分

五國(三十二)

北拓(八回)

南滿(五回)

四月	八八・九五	九四・七五	八六・四五	九三・二〇	九〇・六〇	九六・一〇
五月	八九・〇〇	九四・八〇	八六・五五	九三・五〇	九〇・六〇	九六・五〇
六月	八八・八〇	九四・六五	八六・六五	九三・五五	九〇・六〇	九六・八〇

(各月央實物氣配ニ依ル)

七月ニ至リ俄然暴騰ヲ演シタリ。試ニ七月十一日引値ト二十二日引値ヲ  
 比較スルニ左ノ如シ



銘柄

	七月十一日	七月二十二日	比較
甲 五	八八・八五	九〇・四〇	一・五五高
特 五	九四・八五	九六・〇〇	一・一五高
第一五分	八七・七〇	八九・五〇	一・八〇高
第二五分	八六・八〇	八七・六五	八五高
第三五分	八六・七〇	八七・四五	七五高
五國(二十二)	九四・九〇	九六・一〇	一・二〇高
五國(四〇)	九二・九五	九三・九〇	九五高
四分利佛貨	一三四・一五	一三七・四五	三・三〇高
北拓(八回)	九〇・六〇	九一・〇〇	四〇高
南滿(五回)	九七・〇〇	九七・二〇	二〇高

市場ノ情況斯ノ如クナレハ四月頃ヨリ計畫中ノ二千萬圓ノ抽籤償還ハ資  
 金偏在ヲ一層濃厚ナラシムルモノトシテ決行スルニ至ラス見送りノ儘八  
 月ニ入レリ

一方社債界モ公債高ニ刺撃<sup>較</sup>セラレ夏枯期ナルニ拘ラス好況ヲ持シ七分ハ



社債ノ出現ヲ見ルニ至レリ主ナルモノ左ノ如シ

會社別 拂込期日 發行總額

大阪電軌 七月十五日 一〇〇〇〇 千圓

宇治川電氣 八月一日 五〇〇〇

九州水電 八月十五日 八〇〇〇

九州電氣 八月三十日 一〇〇〇

東邦電力 九月一日 一〇〇〇

柄 九月二千萬圓抽籤償還發表セラル、ヤサナキタニ左記硬化材料簇出ノ折

(一) 資金ノ偏在コイルノ低落(翌日物六厘臺)

(二) 證券業者ノ手持極度ノ品薄

(三) 本行手持ノ減少豫想

(四) 臺灣、鈴木、川崎等ノ札付銀行會社カ一切ヲサラケ出シタル結果財  
界ヨリ不安氣分ノ一掃

(五) 預金部資金ノ地方還元實行(高利地方債ノ肩替リ)ニ伴フ資金ノ市



場流入豫想

之カ動機トナリ公債ハ再ヒ暴騰シタリ

銘柄

九月十七日相場

利廻

九月十三日ニ比シ騰貴

利廻減

甲	五	九二・四〇	五分	六二	一圓	七五	分	一五
特	五	九八・〇〇	五・四一	一・〇〇	〇〇	〇〇	〇	一一
第 一	一	九二・三〇	五・六二	二・三〇	〇〇	〇〇	〇	二〇
第 二	二	九一・〇〇	五・六八	三・二五	〇〇	〇〇	〇	一九
第 三	三	九〇・〇〇	五・七八	二・五〇	〇〇	〇〇	〇	一八
一回	四分	七九・四〇	五・六四	二・九〇	〇〇	〇〇	〇	三〇
四分利佛貨		一四一・六〇	六・四五	二・八〇	〇〇	〇〇	〇	一七

此處ニ一言スヘキハコールレイトノ低落ヨリ證券業者ノコールレイトト  
 公債利~~率~~トノ間ノ鞘稼キノ流行ナリ、甲號五分利ヲ例セハ同公債ノ相場  
 九十二圓四十錢ハ利廻五分六厘ニ當リ日歩換算一錢~~五~~厘~~八~~毛ニ當ル  
 隨テ六七厘ノコールニテ泳キ一方實物ヲ買ヒ他方長期先限ニ懸ケツナキ  
 置ケハ完全ニ利鞘ヲ稼キ得ル譯テアリ而シテ之カ流行ハ今回ノ公債騰貴



ヲ助長セシコト想像ニ余リアリ

公債ノ續騰ハ廳テ募集ヲ容易ナラシメ五國（四十三回）九千萬圓ノ募集  
（二年十一月）ハ利廻五分四厘九毛期限二十ヶ年モノニテ前回ノ五國（四  
十一回）（二年八月發行）ニ比シ利廻約四厘二毛減期限七年方延長、五  
國（四十回）（二年五月發行）ニ比シ利廻五厘一毛低下期限七年半延長  
ナルニモ拘ラス其ノ應募總額ハ一億二千九百萬圓（一倍四四）トナリ良  
好ノ成績ヲ舉ケタリ

又會社々債モ本行利下（十月十日）ト預金利下ノ實現ト共ニ非常ナル勢  
ヲ以テ市場ニ賣出サレ十月中ノ總額實ニ一億一千百五十萬圓ヲ算セリ  
主ナルモノ左記ノ如ク

大同電力 一九〇〇〇 千圓

王子製紙 一五〇〇〇 千圓

京濱電力 五〇〇〇

京阪電鐵 二〇〇〇〇

阪神急行 一〇〇〇〇

東洋モス 五〇〇〇〇

東京電力 一〇〇〇〇〇



尙十一月以降發行豫定ノモノ左ノ如クナリシモ

臺灣製糖

一〇〇〇〇 千圓

日本麥酒鑛泉

三〇〇〇 千圓

東武鐵道

一〇〇〇〇

淺野セメント

五〇〇〇

阪神電鐵

一五〇〇〇

東京モス

七〇〇〇

金融界ノ情勢ハ既ニ十一月ニ入りテハ歲末ヲ控ヘ幾分警戒氣分モ加ハリ社債ノ發行ニハ不利トナリ之等ノモノハ明春二、三月ニ於ケル金融<sup>後</sup>期ヲ狙ツテ發行サルルコトトナリ從テ年内ニ於ケル社債ノ發行ハ十月ヲ以テ峠トシ一服ノ状態トナレリ  
斯ノ如ク股賑ヲ極メシ證券界ハ年末ニ當リ年末資金關係ヨリ幾分相場小戻シタレトモ猶春高見越ト二月執行セララルヘキ三千萬圓抽籤償還ノ發表トニ依リ相場ハ依然底強ク越年シタリ

七月以降ノ現物氣配（各月央相場ニ依ル）

甲五 特五 第三五分 五國（三十二） 北拓（八回） 南滿（五回）

七月 八九四五 九五三五 八七〇五 九三、七五 九〇、六〇 九七、〇〇



八月 九〇〇〇 九六三五 八七二〇 九四九〇 九一〇〇 九七二〇  
 九月 九一三〇 九八〇〇 八八七〇 九六七〇 九一〇〇 九七五〇  
 十月 九二九〇 九八三五 九〇九〇 九七七〇 九二五〇 九九四〇  
 十一月 九三三〇 九八五五 九〇七〇 九八〇〇 九六二〇 九九八〇  
 十二月 九二六〇 九八〇〇 九〇三五 九七六〇 九五七〇 一〇〇〇〇  
 年明ヶ後ノ金融市場ハ遊資頗ルダブ付ヲ生シコールノ激落ニ公債再ヒ爆  
 騰シ早クモ一月十一日氣配ハ左ノ如キ状態ニアリテ

一月十一日氣配

昨年大引トノ比較

甲五	九四三五	• 八五高
特五	九九五〇	• 七〇高
第一五分	九二八五	• 二五高
第二五分	九二五〇	一 • 一五高
第三五分	九一九〇	• 九〇高
五國(二〇)	九九八五	• 五五高



五國（四十一） 九七四〇

・六〇高

四分利佛貨 一四一、〇〇

・三〇高

前途益々強カルヘク思ハシメ殊ニ當面ノ原因タル金融緩漫ハ永續性ヲ帶  
ヒ來リ動モスレハ市中銀行ノ放資カ投機的方面ニ流レントスル傾向アル  
コト漸ク怖レラレ又一方特融關係ヨリ極度ニ膨脹シタル兌換券ノ收縮ヲ  
圖ルノ要生シタレハ本行ニ於テハ手持公債ヲ可及的市場ニ賣出スコトト  
ナレリ

本行所有公債月別賣却高

月次 所 有 高 賣 却 高 殘

昭和三年 前年ヨリ繰越

一月 三四七六二〇、八二五 圓 一六、一〇〇、〇〇〇 圓

二月 震手補償受入 四〇、八四〇、〇〇〇

三月 二二、四〇三、七二五 五〇〇、〇〇〇

四月 全上 二、三三五、一二五 二四、二〇〇、〇〇〇

五月 全上 七、一一二、八五〇 七、七、一二〇、八五〇



臺灣補償受入	六月	二〇〇、四九〇、六七五	二三、五一〇、〇〇〇
	七月		九〇、六五一、三〇〇
	八月		一〇、七〇三、〇〇〇
			一一六、一二七、一〇〇

昭和二年五月以降所有公債賣却高（昭和三年九月十二日調）

銀行業者	三四四、一二九、六〇〇
證券業者	九三、六〇八、二五〇
其他	一〇、一六五、一七五
合計	四四六、九〇三、〇二五

一月末ノ公債相場ハ左記ノ如ク依然騰勢ニアリテ

昭和三年	甲五	特五	第三五分	五國(三十二)	北拓(八回)	南滿(五回)
一月	九四、一〇〇	九九、五五〇	九一、六〇〇	九八、二〇〇	九五、七〇〇	一〇〇、一〇〇
二月	九四、三五五	九九、六五五	九二、三五五	九九、三〇〇	九五、七〇〇	一〇〇、一〇〇



三月	九三、四〇	九九三〇	九二、〇五	九八、九〇	九五、七〇	一〇〇、一
四月	九四、五〇	九九四〇	九二、二〇	九八、七〇	九五、七〇	一〇〇、二〇
五月	九五、三〇	九九八〇	九三、一〇	九八、九〇	九五、七〇	一〇〇、二〇
六月	九六、〇五	九九九〇	九三、九〇	九九、五〇	九六、〇〇	一〇〇、二〇

(各月央現物氣配)

此間募債市場ハ五國(四十五回)一億五千萬圓、五國(四十六回)六千萬圓、五國(四十七回)七千萬圓ト募集相踵キタルカ何レモ相~~等~~者ノ成績ヲ舉ケ殊ニ四十七回ハ東電ノ外債成立見越ト特融ノ激増ニヨル金融軟化見越トヨリ買氣ヲ煽リ締切ノ結果ハ應募額五倍〇七ノレコードヲ作レリ

會社々債モ同様賣出シ相踵キ

月次 發行高(拂込月ヲ以テ發行月トセリ)

一月 三五〇〇〇 千圓 (外ニ日本電力外債 一八〇五四 千圓)

二月 八四〇〇〇

三月 一三一、五〇〇



四月 一一四七六一  
 五月 五五〇〇〇  
 六月 一二〇〇〇〇〇 (外ニ東電外債 一八四、三五三)

四月頃ヨリハ五分五厘モノノ出現ヲ見タリ  
 主ナル五分五厘モノノ左ノ如シ

會社名	發行高	利廻	期限
日本郵船	一五〇〇〇 千圓	五・九三	八年
東邦電力	一五〇〇〇	五・九一	八年
滿鐵	三五〇〇〇	五・七六	八年
大阪商船	一〇〇〇〇	五・八九	五年
日本製糖	一〇〇〇〇	五・八九	八年

七月ニ入り公債相場ハ一層上ケタルカ



月次	甲五	特五	第三五分	五國(三十二)	北拓(八回)	南滿(五回)
六月	九六〇五	九九九〇	九三九〇	九九五〇	九六〇〇	一〇〇、二〇
七月	九七九〇	九九九五	九六六五	一〇〇、一〇	九八七〇	一〇〇、四〇

(各月央實物氣配)

二十三日ニ至リ(一)相場上ケ過キノ不安反映 (二)預金利下ノ期待外レ等ヨリ人氣崩レ加フルニ思惑筋ノ投~~資~~<sup>モ</sup>アリテ俄然暴落シ引續キ低落步調ニ移レリ

八月募集ノ五國(四十八回)二億三千万圓ハ發表當初一圓擲ミノプレミアム附キ相<sup>考</sup>市場ニ歡迎サレ七月十四日締切リタル豫約申出額ハ三倍六〇五ノ八億二千九百萬圓ト云フ好況ヲ示シタルカ、中途人氣消失シ舊券ノ相場ハプレミアム所ノ騒キニ非ス其ノ賣出價格タル九十八圓ヲ割ツテ九十五圓見當迄低落シ當初ノ豫想トハ全ク逆ノ現象ヲ呈スルニ至リシハ其間ノ消息ヲ如實ニ物語レルモノト云フヘシ

敘上ノ如ク七月最高ヲ一轉期トシテ頓<sup>挫</sup>シタル昨年來ノ景氣ハ遽ニ回復スヘクモアラヌ連日的不勢ニ經過シツツアリ



銘 柄

本年ノ高値

九月廿六日氣配

比較

甲五	九八・〇〇	九二・四〇	五・六〇安
特五	一〇〇・〇五	九九・九五	・一〇安
第一五分	九七・七〇	九二・〇〇	五・七〇安
第二五分	九六・九〇	九一・二〇	五・七〇安
第三五分	九六・六五	九一・〇五	五・六〇安
一回四分	九〇・〇〇	八〇・〇〇	一〇・〇〇安
五國 (四十三、四十五、四十六、四十七)	九八・七五	九三・九〇	四・八五安
四分利佛貨	一六九・五〇	一四五・〇〇	二四・五〇安

(因ニ四分利、又ハ四分利佛貨ノ大暴落ハ思惑)  
 (賣買濫行ノ跡ヲ明示セルモノト云フヘシ)



總裁



營業局長



副總裁



理事



別紙供高覽候也





五分利國庫債券(第四十八回)募集並  
五分利國庫債券(芝罘第十三回)繰上償還に關する費用諸

新聞廣告料 96.742<sup>80</sup>

電車内廣告料 5.900—

鐵道駅廣告料  
看板用紙并木スタ配付料其他 1.306<sup>05</sup>

印刷費 5.374<sup>40</sup>

電報料 1.504<sup>27</sup>

代理店へ拂込金  
取扱手数料 82.862<sup>07</sup>

支出費用總額 193.689<sup>59</sup> (3.10.5現在)

政府に支給を受けたる募集手数料 575.000<sup>00</sup>

備考

外 = 通援に勘定して豫約料 1.150.000<sup>00</sup>  
取次料 128.391<sup>52</sup>, 収支アリ



昭和 年 月 日

昭和參年二月廿五日

日本銀行

營業局長



總裁



副總裁

理事



十二月一日渡國債利金支拂高豫想

(元金償還ナシ)





十二月一日逕利子査定高

五八、一五〇、〇〇〇圓

十二月中利金支拂高

(昭和三年六月中ノ支拂高ヨリ推算)

本店直扱 三〇、〇一〇、〇〇〇圓

大阪地方 九、六四〇、〇〇〇

名古屋地方 二、八二〇、〇〇〇

其他 一三、九四〇、〇〇〇

計 五六、四一〇、〇〇〇

期月後支拂 一、七四〇、〇〇〇

合計 五八、一五〇、〇〇〇

昭和 年 月 日



利札ノ四期拂制ヲ廢シ二期拂制ニ改ム

昭和四年三月三十一日

十二月一日 昭和七年 改訂



目次

一、四期拂制ノ實施

二、四期拂ヲ二期拂ニ改ムルノ理由

(1) 市場關係

(2) 英米ノ狀況

(一) 英國

(二) 米國

(3) 二期拂制ノ實施ニ伴フ事務上ノ諸問題

(一) 利札整理ニ關スル問題

(二) 利盡ノ問題

(三) 其他ノ問題

三、二期拂制實行方法



## 一、四期拂制ノ實施

國債利子四期拂制ハ大正九年二月臨國る號發行以來實施セラレタルカ其ノ沿革、改正理由等ニ關スル文書ノ存スルモノ無キ爲メ其間ノ事情明瞭ナラス。

思フニ歐洲戰爭勃發以來我國家經濟ノ狀態ハ頗ル良好ニシテ我國正貨ノ歐米ニ堆積セル數量多キヲ加へ、一面外國爲替ノ狀態ハ所謂片爲替ニ偏シ爲メニ我國生産品ノ輸出ヲ阻礙スルノ傾向アリシヲ以テ歐米ニ對スル投資ハ國際金融上ノ急務トナリ、政府ハ五年以内ノ短期公債ヲ發行シ民間ノ資金ヲ吸收シ通貨ノ膨脹ニ依ル幾多ノ弊害ヲ防止センコトヲ期シ、大正六年八月以來爲替資金ノ供給並ニ聯合國財政援助ヲ名目トシテ臨時國庫證券ヲ繰返シ發行セリ。



發行額ヲ列擧スレハ左ノ如ク

大正六年度 臨時國庫證券

一億五千萬圓

鐵債 は號

其他 朝鮮 ろ號

一億三千八百萬圓

五分利 ふ號

合計

二億八千八百萬圓

大正七年度 臨時國庫證券

三億二千百萬圓

其他 (五分國ろ、は號)  
五分利 え號

一億七百萬圓

合計

四億二千九百萬圓

大正八年度 臨時國庫證券

四億三千六百萬圓

其他 (五分國に、ほ、へ號)

二億千二百萬圓

合計

六億四千八百萬圓



國債ハ發行ニ發行ヲ重ネ其ノ結果募債市場ハ飽食シ應募狀況思ハシカ  
ラス。發行額ニ對スル應募總額ノ割合ヲ見ルニ大正九年發行五分利國  
庫債券（と號）ノ四割四分、臨時國庫證券（ぬ號）ノ四割一分ト著シ  
キ不成績ヲ示セリ。而モ一方臨時國庫證券（割引發行ノ分）ハ償還期  
到來ノ爲メ借換發行輻輳シ他方我財界ハ所謂戰後ノ恐慌ニ遭遇シ旁々  
國債ノ賣行ハ一層不良トナリ、茲ニ國債政策上一策ヲ講セサレハ賣拔  
キ困難ナルノ實情ニ立チ至リタリ。

偶々英國ニ於テハ公債借換法（一八八四年、一八八八年、一八九二年、  
一八九九年）ニ依リ四期拂制ヲ採用シ米國ニ於テモコンソル公債、パ  
ナマ運河公債、借換公債ノ發行（自一九〇〇年）ニ際シ四期拂制ヲ採  
用シタルコトアリ。即チ之ニ倣ヒ我國ニ於テモ從來ノ二期拂ヲ改ムル



マカ。發行者ニ關スル應募額ノ割合ヲ見ルニ大正五式半發行者正發行者  
兩者ハ發行者ニ發行者ノ重キ其ノ結果發行者ハ發行者ノ應募額見ルハマカ

ニ四期拂トナシ大正九年二月發行臨時國庫證券（る號）ヨリ之ヲ實施  
セリ。

由來發行セラル、國債ハ何レモ四期拂トナシ既發行二期拂證券ニシテ  
利札盡了ニヨリ引換ヘラル、新證券（恩賜公債）モ亦四期拂トシ漸次  
四期拂ニ統一スルノ方針ニ出テタリ。即チ左ノ實行方法案ヲ見ル。

#### 國債利子四期拂制度實行方法（案）

##### 一、新規發行ノ國債

(イ) 短期國債ニ付テハ次ニ發行スル分ヨリ實行スルコト

(ロ) 長期國債ニ付テハ大正十年發行ノ分ヨリ實行スルノ豫定ヲ以テ成  
ルヘク新様式證券製造ノ進捗ヲ圖リ其ノ完成ヲ俟ツテ實行スルコ  
ト



三、既發行ノ國債

(イ) 恩賜公債ハ大正九年九月限りニテ利札盡了スルヲ以テ第一順位ト

シ大正十年三月ノ利盡期前ニ引換ノ方法ヲ以テ實行スルコト

(ロ) 四分利公債ヲ第二順位トシ證券ノ準備完成次第引換ノ方法ヲ以テ

實行スルコト

(ハ) 甲號五分利公債ハ第三順位トシ證券ノ準備完成次第實行スルコト

(ニ) 其他ノ長期五分利公債（帝國五分利、特別五分利、い號五分利國

庫債券、ろ號は號鐵道債券）ハ適當ノ時ニ於テ借換ノ方法ヲ以テ

之ヲ統一スルモノトシ其借換ノ爲メ發行スル時ヨリ實行スルコト

但シ近キ將來ニ於テ借換ヲ實行スヘキ適當ノ機會ヲ得サル時ハ特

別五分利公債ハ第四順位ニ於テ引換ノ方法ヲ以テ實行シ其他ハ附



屬利札盡了ニ因ル引換ノ時ヨリ實行スルコト

(丙) 短期國債ハ滿期借換ノ爲メ公債ヲ發行スル時ヨリ實行スルコト

以上

他方四期拂制ノ實施理由ニ付左ノ說ヲ爲スモノアリ。

一、當時ノ市場相場ハ裸相場ニ非サリシヲ以テ利拂期後ニ於ケル相場ノ

値開キ大ナルモノアリ之カ防止策トシテ實施セラレタリ。

二、利拂資金關係ニ於テ利子ノ分割支拂ヲ要望シタリ。

(一)ニ就キテハ若シ裸相場ナラサリシトスルモ二期拂ヲ四期拂ニ改メタルコトハ單ニ値開キ二圓五十錢ヲ一圓二十五錢ニ縮メタルノミニシテ其ノ程度コソ減シタレ値開キハ依然存續スルカ故ニ之カ重大ナル改正ノ理由トハ首肯シ難キモノアリ。殊ニ裸相場ノ實施カ四期拂實施ト同



年ノ大正九年ナルニ於テヲヤ。

(二)ニ就キテハ一應尤モトモ思考セラル、點ナキニシモ非サレトモ果シテ分割支拂ヲ要望シタルヤ否ヤ。事後ニ於ケル理由ノ爲メノ理由ニ非サルヤヲ疑フ。何トナレハ若シ夫レ單ニ分割支拂ヲ希望スルトセハ必スシモ四期拂ニ依ラストモ曆年計算ト年度計算トヲ交互ニ採用スルニ於テハ實質上四期拂ト同様ノ效果ヲ齎ラシ得ルニ非スヤ。敢テ利廻ヲ向上セシメテマテ四期拂ニ改ムルノ理由何處ニカアラン。

依是看之想像シ得ル改正理由ハ(一)募集不況時ニ處スル賣行増進政策、

(二)國債權者優遇、(三)外國制度ノ輸入、ヲ措キテ他ニアラサルヘシ。

以上ハ四期拂ノ制度カ如何ニシテ創始セラレタルカニ就キテノ考察ナルカ大正九年四期拂實施當時ト其後十年ヲ關シタル今日トハ時勢大イ



マ依請支曉マ長屋ヨクムヤ否ヤ。事對ニ領マハ由入、由入、由入ニ非  
(二)ニ領ママハ一領次ヨイ子思マシマム、編マキニミテ非ヤ、イ子果マ  
平ハ大五次平マムニ領ママ。

ニ異ナル處アリ。國債額ハ左表ノ如ク累年増嵩ノ趨勢ニ在リテ、國債  
ニ關スル事務亦煩ヲ加ヘツ、アル實情ナリ。則チ茲ニ何等カノ策ヲ講  
シ置カサレハ數年後或ハ十數年後ニ於テ、由ンハ行詰ルコト無シトス  
ルモ相當困難ナル立場ニ遭遇スルコトアルヘキヲ思ハシム。



各年度末國債現在額一覽表（單位千圓）

年度	內國債	外國債	計
大正九年	一、八一、九六五三	一、四二、四三八八	三、二四、四〇四一
十年	二、一八、四八五二	一、三五、九〇一五	三、五四、三八六七
十一年	二、四五、〇一〇五	一、三五、八五五六	三、八〇、八六六一
十二年	二、五七、六一九七	一、六二、一三九三	四、一九、七五九〇
十三年	二、八二、二九五八	一、五〇、六七七四	四、三二、九七三三
十四年	三、五一、九八六四	一、四七、九三一二	四、九九、九一七六
昭和元年	三、七一、〇五七六	一、四六、一、一八九	五、一七、一、七六六
二年	三、九四、四四七三	一、四五、三、三九三	五、三九、七、八六六
三年 (十二月末)	四、三四、六、四五四	一、四五、三、〇九二	五、七九、九、五四七

備考

(一) 大正十三年度以前ノ各年度ニハ臨時國庫證券ヲ包含セス  
 (二) 大藏省證券及米穀證券ハ本表ニ之ヲ除ク



平... 内... 外... 借...  
各半... 一... (單...)

三、四期拂ヲ二期拂ニ改ムルノ理由

(イ) 市場關係

(一) 四期拂ヲ二期拂ニ改ムルコトノ市場ニ及ホス影響ハ利廻ノ低減以外ニ惡材料ナキカ如シ。

發行價格九十五圓償還期限二十年モノ、利廻ハ左ノ如ク

(二期拂)

(四期拂)

單利

五五二六

五五二六

複利

五四一二

五四一〇

單利ニ於テハ二期拂モ四期拂モ同率ナレトモ複利計算ニ於テハ實際上利廻二糸ノ開キアルヘシ。

假リニ右ノ條件ヲ以テ四期拂ト二期拂ノ差額百圓ノ利益ヲ得ンカ



爲メニハ凡ソ幾何ノ投資ヲ要スルヤノ點ニ就キ考究スルニ

額面百圓ノ投資ニ於テ 二厘ノ利益

千圓 〃 二錢 〃

一萬圓 〃 二十錢 〃

十萬圓 〃 二圓 〃

百萬圓 〃 二十圓 〃

即五百萬圓ノ投資ニ於テ始メテ百圓ノ利益ヲ享受スルコト、ナルヘシ。而シテ五百萬圓以上ノ國債ヲ有シ百圓以上ノ利益ヲ享受シ得ルモノハ一部ノ銀行會社（一流銀行、一流信託會社並ニ二三ノ貯蓄銀行）ニ止リ一萬圓、二萬圓ノ國債所有者ハ僅ニ二十錢、四十錢ノ利益ヲ受クルノミ。



若シ斯ノ如シハ取扱上ノ煩雜等幾多ノ犠牲ヲ忍ヒテ四期拂ヲ續行  
スルノ要那邊ニ在スルヤ。債權者優遇策トシテ利廻ノ向上ヲ計ル  
ヲ以テ唯一ノ目的トスルナラハ必スシモ四期拂ニ依ラストモ二期  
拂トシ償還期限、發行價格等發行條件ノ按配宜シキヲ得ハ可ナラ  
ン。

(二) 内國債ノ分布狀況ヲ見ルニ



内國債分布狀況（昭和三年三月末現在）

摘要	債額	内國債總額ニ對スル割合
政府所有	六一、九〇三 千圓	一四・〇七八%
本行所有	一三、三二八	三・〇四五
公共團體	二八、八九七	六・六四八
財團法人其他	六六、二三三	一五・三七四
社寺、學校	四九、一八六	一・一三二
銀行	一、六三七、四六九	三七・六七四
會社	三二、五二〇	七・四八二
個人	六三、三一四八	一四・五六七
合計（内國債總額）	四、三四六、四五四	一〇〇・一

（政府及本行所有以外ノ數字ハ大体ノ推算ニ依ル）

内國債ノ四五%ハ銀行會社ノ所有スル處ニシテ從テ四期拂ノ利益ヲ享受スルモノハ此等大投資家ナリ。零細ナル資金ノ吸收ニ當リテハ小額ノ國債所有者ヲ優遇スルコト亦必要トスル處ナランモ最近ノ實情ハ全ク之ト異リ國債ノ顧客ハ銀行、會社ニシテ併モソノ色採年々濃厚ノ度ヲ加ヘツ、アリ。一層四期拂ノ實益薄キヲ思ハシム。

### (四) 英米ノ狀況

#### (一) 英國

英國國債ハ對個人無利子借入公債ヲ除キ悉ク利子ヲ附シ、一般國債ニ對スル利子支拂ハ四期拂ト二期拂ノ兩種アリ。

其ノ四期拂ニ屬スルモノハ無期國債ノ一部(二 $\frac{1}{2}$ %無期國債、二



四期拂ニ屬スル國債額ハ總計三二六八一三、〇〇三磅（一九二五年三月末現在）ニシテ内債總計六、五二四、七七一、九一三磅ニ比スレハ實ニソノ五%ニ過キス。而シテ最近發行セラレシ整理公債或ハ戰勝債券ハ何レモ二期拂ニ屬シ、近年四期拂ノ併用セラレシコトナシ。

## (二) 米國

米國ニ於テ利札付國債中四期拂ヲ採用セルモノハ

南洋半島通商(南洋半島通商及安南半島通商)ニシテ其ノ中ノ諸國  
 南洋半島通商(南洋半島通商及安南半島通商)ニシテ其ノ中ノ諸國

一九三〇年コンソル公債 五九九七二四〇五〇 弗 一九〇〇年發行

パナマ運河公債 一二四七〇一五八〇 自一九〇六  
 至一九一六

借換公債 二八八九四五〇〇 自一九一六  
 至一九一七

合計 七五三三二〇一三〇

アルノミニシテ利札付國債合計一九三八三、七七〇、八六〇弗(一九  
 二六年六月末現在)ニ比スレハ僅ニ三・三七%ニ當ル。

而シテ是等四期拂ヲ採用シタルハ何レモ今ヨリ十二年以前ノコト  
 ニシテ第一回自由公債發行(一九一七年)以來ハ總テ二期拂制ヲ  
 採用セリ。

(ハ)二期拂制ノ實施ニ伴フ事務上ノ諸問題

(一)利札整理ニ關スル問題



二期拂制ノ實施ニ伴ヒ支拂濟利札枚數漸減シ、利札整理事務ノ分量減スルカ故ニ利札整理ニ從事スル事務員並ニ補助員（約二百七十名）ヲ節減シ得ヘシ。

### (二) 利益ノ問題

附屬利札枚數半減ニ伴フテ利札盡引換ノ手數ヲ省略シ得可シ。理想トスル四十期附屬制ヲ採用スルトセハ償還期限二十年以内ノ證券ニ在リテハ利益ノ問題ハ起ラサルコト、ナルヘシ。

(三) 其他一般支拂事務、承認拂ノ利札對照事務、未償還當籤國債ノ番號調査事務ハ何レモ支拂濟利札枚數ノ減少ニヨリソノ煩勞ヲ減シ得可シ。

### 三、二期拂制實行方法

國債權者カ四期拂ニヨリ獲タル既得權ヲ侵害スルコトハ無論不可ナル  
ヘク、則チ原則トシテ將來新ニ發行サルヘキ國債ヨリ二期拂制ヲ採用  
スルコト、シ、之カ實行方法ヲ立ツルコト左ノ如シ。

(一) 新規發行ノ國債ニ付テハ次回發行ノ分ヨリ實行スルコト

(二) 既發行ノ國債

イ、短期國債ハ滿期借換ノ爲メノ發行公債ヨリ實行スルコト

ロ、長期公債ハ適當ノ時機ニ於テ借換ノ方法ヲ以テ之ヲ統一スルコ

ト

以 上

要スルニ四期拂制採用當時ト今日トハ四圍ノ事情大イニ異リタル爲メ  
ニ四期拂ノ實益殆ント稀薄トナリ、國債額ノ増嵩ト共ニ却テ取扱上ノ



煩雜ヲ來ス等寧ロ好マシカラサル結果ニ到達シタルノ感アリ。敢テ改正案ヲ草セシ所以ナリ。

昨年末現在内國債總額ヲ二期拂ト四期拂ニ分ツニ左ノ如シ。

昭和三年十二月末現在内國債額内譯（單位千圓）

名稱	二期拂	四期拂
第一回四分利公債	一六九六九八	一
第二回四分利公債	九五九三六	一
五分利公債	一二三四九一	九七、八〇七
特別五分利公債	一二〇八二一	一
甲號五分利公債	四一九四〇二	一
五分利國庫債券	一九九九九	三、二七六、二九八
鐵道債券	七九九九	一
臨時國庫證券	一	六九九九八
合計	一、〇二八、三五〇	三、三一八、一〇四



昭和 年 月 日

長期國債ノ激增ト國債市價ノ動搖ニ就テ  
別紙ノ通り取調候間供高覽候也

昭和四年五月廿四日

營業局長



總



副總裁



理事



五... 昭... 行



長期國債ノ激增ト國債市價ノ動搖

一近年長期國債頻々トシテ發行セラレ其

額著シク増加ヲ示スニ至レリ。先ツ之

ガ激增ノ趨勢ヲ見ルニ左ノ如シ。

昭和 年 月 日



長期國債及短期國債總額調 (單位千円)

年月	長期國債	短期國債	合計 (内現在國債)	長期國債ノ内國債 總額ニ對スル比率
大正十五年六月末	一三〇九.五七二	二.三二八.二六五	三.六三七.八三七	三五.九%
〃	七六.七七四	三五.一五五	一一.一八九.二九	
〃	一.三三八.〇八七	一.八〇.三五	三.一八八.四三八	
昭和二年十二月末	一.三四九.七三七	二.三〇〇.二四四	三.六四九.九五六	三六.九
〃	一.一四九.六五〇	△.四六.〇八六	△.三九.四三六	
〃	一.五五五.六〇四	二.三四六.九七四	三.九〇二.五七八	三九.八
〃	二〇.五八.六六	四.四五.九六〇	二五.〇四.六二	
三年十二月末	二.一〇四.九三六	二.一八七.一四八	四.二九二.〇八五	四九.〇
〃	五.四九.三三二	△.一五九.〇二六	三.九〇.二〇六	
〃	二.三八四.三三七	一.九六二.一七	四.三四六.五四四	
〃	二.七九.四〇〇	△.二二五.〇三一	五.四六.三六九	五四.八

(備考)  
 一 償還期限昭和二年以後ノモノヲ長期國債トス  
 二 朱書前期末ト比較増減ヲ示ス (△印減)

昭和 年 月 日



乃チ大正十五年六月末ト昨年末トヲ比  
較スルニ長期債ハ十億七千四百万円モ  
激増セルニ短期債ハ却テ三億六千六百万  
円ヲ減少シ差引キ内國債總額ニ於テハ  
七億八百万円ノ増加ニ止ル其結果長期  
債ノ内國債總額ニ對スル比率ハ約ニ割方

昭和 年 月 日

モ増加シ又長期債ノ短期債ニ對スル比  
率ハ四對六ヨリ逆ノ六對四ニ推移シ主  
客全ク轉倒セリ。

斯ク長期國債ノ膨脹シタルハ

(1) 交付公債ノ増加 震災善後ニ関ス

ル經費、復興事業ニ関シ土地所有者

昭和 年 月 日



其他ニ對スル補償(約五億圓)震手

損失補償(約一億圓)台灣特融損失

補償(約二億圓)等ニヨル交付公債

(五十五年モ)ノ發行額ハ最近數年間

非常ナル勢力ヲ以テ激增セリ。

(四)短期債ノ長期債借換及長期債ノ

昭和 年 月 日

新規發行 一昨年來募債市場ノ

好況ニ乗ジ 短期債ノ長期債ニ借換

ヘラレタル額四億七千五百万円ニ達シ

又五分利國庫債券四十六回及四十七回

合計一億三千万円ノ長期債ヲ新規

公募セリ。

昭和 年 月 日



ニヨルヘク此間短期債ハ満期又ハ繰上償  
還等ニヨリ漸減シ此趨勢ハ一昨年下半年  
期以降特ニ顯著トナレリ。

二昨年中因債市價ハ暴騰ニ次テ暴落ヲ  
ナシ眞ニ未曾有ノ大波瀾ヲ演出セリ。

其暴騰ヲ演ジタルハ變態的金融緩慢

昭和 年 月 日

預金利下ノ期待ニヨリ證券業者等カ法  
外ニ安キコソルヲ以テ公債ニ對シ利鞘

稼ギヲ盛行セルニ主因スベク其暴落

ヲ演シタルハ預金利下ノ期待外レ金ノ輸

出解禁説ニヨリ前途金利ノ昂騰ヲ豫想

シ市場極度ノ恐怖心ニ襲ハレタル結果彼

昭和 年 月 日



等ハ相競テ手持證券ヲ投出シタルニ主  
因スベシ。

三、金融界ハ引續キ変態的緩慢ノ情勢ヲ  
示スト雖トモ前途金解禁問題ノ横ハ

レル際ナレバ國債相場ノ變動ハ勢ヒ短

期物ヨリモ長期物ニ於テ激甚ナルヲ

昭和 年 月 日

免シズ。殊ニ前述セルガ如ク一昨年来ノ  
借換及新規發行ニヨリ五分利國庫債券  
(二十二年モノ及二十八年モノ)六億圓以上モ激  
増シ、第三五分ノ如キ昨年末ノ現在額  
九億六千八百万圓ノ巨額ニ達シ、從來代表  
的長期債タル甲号五分ノ昨年末現在額

昭和 年 月 日



四億千九百万円ヲ遙ニ超過セルノ狀況ヲ  
呈シ而モ之等長期債中未ダ眞ノ放資  
家ノ手ニ落付カスシテ証券業者其他ノ  
手中ニ在リテ思惑ノ目的物トシテ市場ニ  
浮動スル額激增セル際ニ於テハ勢ヒ相場  
ノ激変ヲ助長スルヲ當然トス。

昭和 年 月 日

公債相場ノ低落ハ利廻採算上結局公  
債ニ對スル需要ヲ喚起スルカ如ク思ハ  
ルレドモ低落歩調ノ止マサル限り眞ノ  
需要者ハ之カ買入ヲ躊躇スルノミナラス  
銀行筋其他トモ手持ヲ賣急クノ傾向ヲ  
誘致シ旁々市場ニ賣物ノミ嵩ミ買手

昭和 年 月 日



更ニ現レズ、相場ハ利廻採算ヲ度外視シ  
日ヲ逐フテ低落ヲ重ヌルニ至ルハ自然ノ  
勢ナリ。サレバ市價ノ安定ヲ圖ルニハ先  
際市場ヨリ浮動物ヲ一掃スルニ如カス  
ト爲シ政府ノ同意ヲ得昨年十月以降  
約一ヶ月ニ亘リ政府勘定及本行勘定ニテ

昭和 年 月 日

昭和十一年... 日本銀行

市場ヨリ第三五分利債額面三千四百餘万  
田ノ買上ヲ断行セリ。斯クテ浮動物ノ一掃  
ニ伴ヒ市場漸ク安定シ十二月以降市價  
一般ニ穩健ナル步調ヲ辿リ越年後モ  
引續ク金融ノ緩慢。資金ノ用途難等ニ  
依リ漸次公債類ニ對スル需要旺盛トナ

昭和 年 月 日



リ殊ニ短期物ニ至テハ市場ニ殆ド賣物  
ナキ為メ相場漸騰シ其結果長期物モ  
一般ニ昂騰ノ趨勢ヲ持續シ昨年十月  
最低八十八圓臺へ迄落込ミタル第三五分  
利債ノ如キモ本月二十四日前場九十三圓五  
十五錢ノ高値ヲ呼フニ至リ此間本行所有

昭和 年 月 日

日本銀行

昭和十六年九月期限ノ五分利國庫債  
一千萬圓ノ賣行ヲ見タルノ狀況ナリ。

昨年中ニ於ケル長期債及短期債相  
場ノ變動ヲ示セハ左ノ如シ。

昭和 年 月 日



長期債及短期債ノ値下リ高調

銘柄	償還期限	高値 <small>(七月十三日 実物気配)</small>	低値 <small>(十月廿七日 実物気配)</small>	値下リ高
(長期債)	昭和四年	九〇・〇〇	七七・二〇	一二・八〇
一圓四分	四四	八九・九〇	七七・二〇	一二・七〇
二圓四分	四四	九七・九〇	八九・三〇	八・六〇
甲号五分	自三三 至三八	九七・七五	八九・五〇	八・二五
雜五分	第一	九六・八〇	八八・四〇	八・四〇
	第二	九五・三〇	八七・七五	七・九五
第三	自五三 至五七	九八・七五	九一・〇〇	七・七五
五國 <small>(甲三 甲五 甲六 甲七)</small>	二二・一二	九八・〇〇	九〇・〇〇	八・〇〇
全 <small>(四十八)</small>	二八・九	發行價格		

昭和 年 月 日



銘柄	償還期限	高値 <small>(七月十日 実物気配)</small>	低値 <small>(十月廿七日 実物気配)</small>	値下り高
(短期債)	昭和 一〇・一	一〇〇・〇〇	九七・〇〇	三・〇〇
特別五分	四・九	一〇〇・六五	一〇〇・三〇	・三五
臨國(の号)	七・三	一〇〇・三五	九九・八〇	・五五
鉄債(は号)	四・六	一〇〇・七〇	一〇〇・三五	・三五
五國 <small>(れつなら うぬも言)</small>	七・九	一〇〇・三五	九九・八〇	・五五
全(二十)	九・六	一〇〇・二五	九九・〇〇	一・二五
全(二十七)	一一・九	一〇〇・一五	九七・七〇	二・四五
全(三十六)	一三・一二	一〇〇・〇〇	九六・七〇	三・三〇
全(四十一)	一五・九	九九・七〇	九六・〇〇	三・七〇

昭和 年 月 日



昭和 年 月 日

昭和四年三月廿三日

營業局長

總裁

副總裁

理事

昭和四年三月渡國債利金支拂高豫想

(元金ノ償還ナシ)



三月渡利子査定高

四九〇四〇〇〇〇圓

三月中利金支拂高

(昭和三年三月中ノ支拂高ヨリ推算)

本店直扱二七、二四〇、〇〇〇圓

大阪地方 七、五四〇、〇〇〇

名古屋地方 二、〇五〇、〇〇〇

其他 一、一四二、〇〇〇

計 四八、二五〇、〇〇〇

期月後ノ支拂 七九〇、〇〇〇

合計 四九、〇四〇、〇〇〇

昭和 年 月 日



昭和 年 月 日

昭和四年五月廿八日

總裁 

副總裁 

理事



營業局長 



六月一日渡國債元利金支拂高豫想

元金 四〇.三四〇.〇〇〇 圓

(五分利國庫債券(第四九回)、乘換残り)

利子 五七.六二〇.〇〇〇 圓

合計 九七.九六〇.〇〇〇 圓

昭和 年 月 日



六月中元利金支拂高豫想

(昭和三年十二月中ノ支拂高ニ據ル)

本店直拂 五三・九四〇・〇〇〇 圓

大阪地方 一五・六七〇・〇〇〇 圓

名古屋地方 四・六九〇・〇〇〇 圓

其他 二二・五三〇・〇〇〇 圓

計 九六・八三〇・〇〇〇 圓

期月後ノ支拂 一・一三〇・〇〇〇 圓

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

九月一日 渡 國債元利金支拂 高 豫 想

總裁

副總裁

理事

營業局長

昭和四年八月廿六日





元金

八・〇四〇・〇〇〇圓

(五分利國庫債券第五回ノ乘換残)

利子 四九・〇八〇・〇〇〇圓

合計 五七・一二〇・〇〇〇圓

昭和 年 月 日

九月中元利金支拂高豫想

(昭和四年三月中ノ支拂高ニ據ル)

本店直拂 三三・三一〇・〇〇〇圓

大阪地方 八・九一〇・〇〇〇圓

名古屋地方 二・五一〇・〇〇〇圓

其他 一〇・七四〇・〇〇〇圓

計

五五・四七〇・〇〇〇圓

期月後ノ支拂 一・六五〇・〇〇〇圓

昭和 年 月 日



昭和四年六月中郵便局(所)ニ於テ支拂ヒ  
タル甲種登録國債元利金調査方法

一 登録係ニ於テ昭和四年六月中支拂済ノ分  
トシテ整理シタル元利金領收證書

金額 二五三八一四四五七 枚數 三七九〇枚 (内

譯別表ノ通り)ハ之ヲ發行係ノ右領收證書引

継簿ト對照ス。

二 前記領收證書ノ金額ハ之ヲ振替與金拂出  
金額中ノ甲種登録國債元利金支拂高ト對  
照ス。

昭和四年 十月 四日



三、利子領収証書之ヲ一々利子支拂原表ト  
對照ス。

四、對照済ノ原表ニ更ニ之ヲ登録簿ト照合ス。

五、利子支拂期ノ昭和四年六月渡ニ屬スルモ

ノハ(別表ノ通り)特ニ未拂ノ原表モ登録簿

ニ對照シ之ノ利子額集計ヲ支拂有ノ分ニ

合計。郵便局(所)ニ送付シタル利子支拂通

知書ノ枚数金額ニ對照ス

六、償還元金領収證書之ヲ登録簿ニ對照ス

以上ノ方法ニ依リ調査ニタル結果其支拂ニ何等誤

リ無キコトヲ確メ得タリ (自九月二十四日  
至十月三日 調査)



昭和 年 月 日



昭和四年六月中

郵便局拂印種登錄國債元利息

種別	元		子		合		計
	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
五分利公債	541		541	21,834.15	541	21,834.15	15
印路五分利公債	346		346	24,622.52	346	24,622.52	52
特別	182		182	10,922.52	182	10,922.52	52
第一回四分利公債	93		93	4,212.12	93	4,212.12	1
五分利國庫債券	182	12,765.20	2415	46,152.92	2595	17,320.12	92
臨時國庫證券	18	18,802.12	17	2,225.20	35	19,027.32	52
	198	14,585.20	3592	107,964.57	3790	25,381.40	57

昭和 年 月 日



郵便局 = 送付の比昭和四年六月渡甲種登錄國債利息支拂通知書

種別	支拂通知書送付高		四年六月中支拂高		利息支拂高				
	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
五分利公債	604	22977	47	534	21655	72	70	1321	75
甲種五分利公債	419	26416	25	340	24587	50	79	1828	75
特別五分利公債	195	11012	50	179	10921	25	16	91	25
第一回四分利公債	114	5765	-	92	4199	-	22	1566	-
五分利國庫債券	2550	48103	34	2403	46091	92	147	2012	42
臨時國庫債券	18	235	-	17	222	50	1	12	50
	3900	114509	56	3565	107676	89	335	6832	67

昭和 年 月 日



昭和 年 月 日

十二月一日渡國債元利金支拂高豫想

總裁

副總裁

理事

昭和四年十二月廿六日

營業局長



元 金 一、一〇〇、〇〇〇、〇〇〇 圓

(五分利國庫債券第五十回ノ乗換残リ)

利 子 五、八、九、二〇、〇〇〇、〇〇〇 圓

合 計 六、九、九、二〇、〇〇〇、〇〇〇 圓

昭和 年 月 日



十二月中元利金支拂高豫想心

(昭和四年六月中ノ支拂高ニ據ル)

本店 直拂 三九、三六〇、〇〇〇 圓

大阪 地方 九、九三〇、〇〇〇 圓

名古屋地方 三、〇八〇、〇〇〇 圓

其他 一六、五〇〇、〇〇〇 圓

計 六八、八七〇、〇〇〇 圓

期月後ノ支拂 一〇、五〇〇、〇〇〇 圓

昭和 年 月 日

昭和 年 月 日

昭和五年三月渡國債元利金支拂高豫想

總裁



副總裁



理事



昭和五年貳月廿六日

營業局長





元金

七、五〇〇、〇〇〇圓

(五分利國庫債券第五十二回ノ乗換残リ)

利子

四九、一六〇、〇〇〇圓

合計

五六、六六〇、〇〇〇圓

昭和 年 月 日

三月中元利金支拂高豫想

(昭和四年九月中ノ支拂高ニ據ル)

本店直拂 三四〇二〇〇〇〇圓

大阪地方 八四〇〇〇〇〇圓

名古屋地方 二四四〇〇〇〇圓

其他 一〇三八〇〇〇〇圓

計 五五二四〇〇〇〇圓

期月後ノ支拂 一四二〇〇〇〇〇圓

昭和 年 月 日



繰 62500

三月中元利金支拂高豫想

(昭和四年九月中ノ支拂高。據儿)

元金	7.500.000
利子	49.160.000
合計	56.660.000

本	店	直拂	三四・〇二〇・〇〇〇圓			
大	阪	地方	八・四〇〇・〇〇〇圓			
名	古	屋	地方	二・四四〇・〇〇〇圓		
其	他	一・〇三八〇・〇〇〇圓				
計	五五・二四〇・〇〇〇圓					
期	月	後	ノ	支	拂	一・四二〇・〇〇〇圓

昭和 年 月 日

3/12

確定必用額

附屬 五〇・四八二・一〇〇圓  
 合計 一・二二二・三三三・五五〇圓

可 六二七・五五〇圓



本原 29,871.050

28,669.425 (利息 1,942.100)

利息, 西报左, 35,242.900

$(35,242.900 \times \frac{97}{100}) \div 101.25 - 33,763.550$  利息, 西报左, 本同期

$28,669.425 + 33,763.550 = 62,432.975$  本同期结存

5/3 期限, 西报左

$69,996.600 - 62,432.975 = 7,563.625$  日本银, 西报左, 西报

$62,432.975 - 1,942.100 = 60,490.875 \times 0.0125 = 756.13593$  本同期利息

5/3 利息, 西报左

$49,925.987 \frac{18}{100} - 756.13593 = 49,169.85126$  日本银, 西报, 利息

日本银, 西报左

日本银, 西报左

$49,160.000 + 7,500.000 = 56,660.000$



國債應募申込書

一 五分利國庫債券  
(第四十六回) 額面

右應募致度申込候也

昭和三年三月 日

住所

氏名印

日本銀行  
御中

取次店名

[Empty box for branch name]

欄 入 記 面 券 望 希						
十萬圓券	一萬圓券	五千圓券	千圓券	五百圓券	百圓券	五十圓券
枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚

保證金 ¥

國債應募申込書

欄 四券五枚

56.660.0000 X 6004 = 54018.664

8408  
8.391.346 大坂

X .1481 =

X .0432 = 2.447.712 名古香

X .1832 = 10.380.112 中地

X .02.51 = 1.422.166 月越

日本銀行  
中野